

森林部門技術士会第56回総会のご案内

日時 : 令和8年4月16日(木)
総会 : 14:00~15:00
特別講演 : 15:00~17:00 (2CPD)
懇親会 : 17:30~19:00

場所 : 機械振興会館(研修-2会議室 地下3階)
港区芝公園3-5-8 電話03-3432-8216(東京メトロ神谷
町駅から徒歩8分 都営地下鉄御成門駅、赤羽橋駅、大門駅か
ら徒歩10分 JR浜松町駅から徒歩15分)
<http://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/access.html>

連絡先 : 竹中、電話03-6206-1095
(〒100-0014 千代田区永田町2-14-2 山王グランドビル4F
日本治山治水協会事務室内)

Eメール : shin-gi@forest-pro.jp

※ 総会参加者は当日、受付にて年会費6,000円の納付をお願いします。

◎特別講演について

- 1 演題 : 「木と人の関係の科学—木材利用を考える新たな視点—」
(CPD承認)
- 2 講師 : 信田 聡氏(日本木材加工技術協会 会長、東京大学元教授)
- 3 講演内容

演題の「木と人の関係の科学」とは、日本木材学会の居住性研究分野に起源を持つ研究であるが、木材利用の推進のために、“木材は人にとってどのように良いか?”を科学的に提案して進展を図ろうとするものである。主な方法は、木材の様々な物性に対する人の主観評価の関連性を探り、木材の良さを調べてゆくことが主なものであった。この過程で、研究者の中には、主観評価の科学的客観性に疑問を持つ人もあり、木材の持つ親人間性について、ほかの方法論を模索する動きが出始めていた。木材の評価方法については官能検査や生理応答評価が加えられ、評価の客観性を高める検討が行われて、現在に至っている。

居住性研究の対象は当初は木造住宅の室内環境(インテリア)に関するものが多かった。室内の快適性、木材に触れた時の温かみのもたらす効果、木材の放つ香りの効果ほか、木材の様々な性質に対して多くの研究がなされてきた。さらに、住宅以外の屋外で使われる木材(エクステリアウッド)に対しても進められてきた。

本講演においては、インテリア及びエクステリアに使われる木材・木質系材料の良さについて、前述の方法論による成果や、小生のエクステリアウッドなどの研究例も含めた具体例を示しながら木材利用の推進に向けた、新しい視点からの提案の試みをお話ししてみたい。

4 定員

会場内定員 100名（申込み先着順）

オンライン定員 100名（申込み先着順）

5 CPDについて

日本技術士会CPD及びJAFEE・CPDは2CPD時間です。
（講演受講希望者は森林部門技術士会HPから申し込み願います。）

◎懇親会について

17：30～19：00（場所：機械振興会館（研修-2会議室 地下3階））

懇親会費5,000円

※出欠、委任状の提出及び参加申し込みについては、会員向けニュースメール（3月10日配信、3月14日再配信）、またはフォレストコンサル3月号（NO182号）を参照ください。